

I. 次の文章を読んで、設問に答えなさい。

11世紀に A によってノルマン朝が建国されて以来、イギリスとフランスは在仏英領をめぐり敵対していた。

イギリスは、A が B の国を打倒して建国されたため、国内の諸侯が弱体化し、当初から王権が強^(イ)く中央集権的であった。それに対しフランスは、870年の C 条約によるフランク王国の分裂後にカペー朝が成立したが、王権は弱く分権的であった。

イギリスは中央集権的、一方のフランスは地方分権的と対照的であったが、十字軍遠征^(ロ)や、14世紀に勃発した百年戦争を契機に、フランスでも中央集権化が進展していくこととなった。

百年戦争は、両国の経済的対立が高まっていく中、フランスでカペー朝が断絶し、フィリップ6世が即位して D 朝が成立すると、それに対しイギリスの国王 E が反発して開戦に至った。戦争の期間中、ほとんどの戦場がフランス国内で行われたことに加え、イギリス軍が国王のもとに結束していたのに対し、フランスは諸侯がそれぞれの軍を率いて戦うことが多く、クレシーの戦いでイギリスの長弓隊の前に敗北を喫するなど劣勢に立たされた。フランスは、F の頃には降伏寸前という状況にまで陥っていたが、ジャンヌ＝ダルクの活躍などで劣勢を挽回し、1453年、百年戦争はフランスの勝利に終わった。その後、イギリスがランカスター家とヨーク家間の王位継承をめぐるバラ戦争と呼ばれる内戦で疲弊したのに対し、フランスでは常備軍が結成されるなど、軍事力の結束をはかって王権強化による中央集権化が進み、神聖ローマ帝国との間でイタリア戦争を起こすなど、対外進出を活発化させた。

なお、百年戦争の最中に、イギリスでは G の乱と呼ばれる農民一揆が勃発した。同時期にフランスでも農民一揆が勃発していたが、それらの背景には、貨幣経済の進展が一因としてあった。三圃制の普及などの中世農業革命を背景に、西ヨーロッパでは商業が活発化し、貨幣経済が進展した。貨幣需要の高まった領主は、農奴に貨幣地代を課すようになった。その一方で、とくにイギリスでは、農奴の中に、解放金を支払い、領主から自立して H と呼ばれる独立自営農民になる者も現れた。領主は独立自営農民の増加などによって経済的に困窮し、重税や賦役を復活させようとしたが、農民の激しい抵抗にあった。このようにして起こった農民一揆は荘園制の解体を促進させ、封建社会を崩壊させる一因となった。

こうして西ヨーロッパは、農業を主体とする分権的な封建社会が崩壊し、商業が盛んで中央集権的な近世へと変貌していった。

問1 文中 A から H までの空欄について、それぞれ最も適当なものを、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は 1 ～ 8。

- A ① ジョージ1世 ② ウィリアム1世 ③ ジェームズ1世 ④ チャールズ1世
- B ① デーン人 ② ヴァンダル人
- ③ アングロ＝サクソン人 ④ スラヴ人
- C ① バリ ② ウェストファリア ③ メルセン ④ ローザンヌ
- D ① ブルボン ② プランタジネット ③ テューダー ④ ヴァロワ
- E ① エドワード1世 ② エドワード3世 ③ チャールズ2世 ④ ジェームズ2世
- F ① ルイ8世 ② ルイ13世 ③ シャルル7世 ④ シャルル10世
- G ① ジャックリー ② ステンカ＝ラーズン ③ プガチョフ ④ ワット＝タイラー
- H ① ヨーマン ② ジェントリ ③ マワリー ④ マドラサ

問2 下線部(ア)について、カペー朝についての記述として適切でないものを、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は 9。

- ① ハインリヒ4世が、教皇グレゴリウス7世にカノッサで謝罪した。
- ② フィリップ2世が、ジョン王と戦い領土を奪った。
- ③ フィリップ4世の軍が、教皇ボニファティウス8世をアナーニで捕らえた。
- ④ ルイ9世が、アルビジョワ派(カタリ派)を征服した。

問3 下線部(イ)について、コンスタンティノープルを占領することとなった第4回十字軍を提唱した人物を、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は 10。

- ① ウルバヌス2世 ② インノケンティウス3世
- ③ リチャード1世 ④ フリードリヒ1世

問4 下線部(ウ)について、この年に起きた出来事を、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は 11。

- ① レコンキスタ完成 ② インカ帝国滅亡
- ③ ビザンツ(東ローマ)帝国滅亡 ④ イギリス国教会成立

問5 下線部(エ)について、西ヨーロッパにおける商業の発展についての記述として適切でないものを、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は 12。

- ① 北イタリアで、ロンバルディア同盟が結成された。
- ② リューベックを中心としたハンザ同盟が結成された。
- ③ 商人や手工業者が、ギルドと呼ばれる組合を結成した。
- ④ イギリスはフランドル地方から羊毛を輸入していた。

II. 次の文章を読んで、設問に答えなさい。

バルカン半島における民族対立が高まり、1914年6月、 A の州都サラエヴォで、 B の帝位継承者であるフランツ＝フェルディナントが、 C 人のプリンチプにより殺害された。この事件を契機に勃発した第一次世界大戦では、毒ガスや戦車などの新兵器が用いられ、従来の戦争とは比較にならないほど多くの戦死者が出た。このことによって、各国ではより多くの男性が徴兵され、各国内の労働力が不足した。そのため、女性が各種工場での労働に従事することとなった。こうして前線と銃後の境が曖昧となり、国民生活が犠牲となる総力戦体制が各国で成立したが、それは女性の社会進出を促した一方で、各国を疲弊させた。

ロシアでは、国民生活が圧迫されたことで厭戦気分が高まり、ロシア二月革命が勃発した。革命によってロマノフ朝が滅亡し、つづくロシア十月革命後には、最後の皇帝 D が処刑された。また、高騰する軍事費に苦しむイギリスは、ユダヤ系財閥ロスチャイルド家からの軍事費援助を条件に、パレスチナにおけるユダヤ人国家建設を支援する姿勢を示す E 宣言を1917年に発表した。ドイツでは、戦況悪化が要因となり、キール軍港の水兵反乱を契機にドイツ革命が勃発した。皇帝 F はオランダに亡命し、ドイツ帝国が崩壊することとなった。

このように、第一次世界大戦は各国を疲弊させただけでなく、従来の国家体制を崩壊させるなど、ヨーロッパ諸国に大きな痛手を与えた。こうしたヨーロッパ諸国の没落は、各国の植民地における民族運動を活発化させた。また、アメリカは1917年に第一次世界大戦への参戦を決定したが、それまでは参戦せず、連合国への軍事物資等の輸出に注力していた。これにより経済発展したアメリカは、 G のウォール街が国際金融市場の中心地となるなど、国際社会における発言力を大幅に強め、覇権国家となった。

第一次世界大戦後のアメリカでは、国内で保守的傾向が強まった。とくに移民に関しては、移民法によりアジア系移民が迫害を受けるなどの状況が見られた。なお、1924年成立の移民法では、アジア系移民の流入が事実上禁止されただけでなく、東欧や南欧からの移民である新移民の流入も制限された。こうして、排他的な一面を見せるようになったアメリカ社会であったが、その一方で、大量生産・大量消費社会が形成され、人々の生活水準は向上した。しかし、急速な経済発展は格差も生み出し、その格差が、 H 大統領の時代に勃発した世界恐慌の一因となったのである。

問1 文中 A から H までの空欄について、それぞれ最も適当なものを、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は 13 ～ 20 。

- | | | | | |
|---|------------|------------|------------|-------------|
| A | ① ハンガリー | ② ボスニア | ③ モンテネグロ | ④ イラン |
| B | ① オーストリア | ② フランス | ③ リトアニア | ④ イタリア |
| C | ① ブルガリア | ② チェコ | ③ セルビア | ④ ベルギー |
| D | ① ニコライ1世 | ② ニコライ2世 | ③ ビョートル1世 | ④ イヴァン4世 |
| E | ① ヘルシンキ | ② サイクス・ピコ | ③ パルフォア | ④ カイロ |
| F | ① フランツ1世 | ② フリードリヒ2世 | ③ ヴィルヘルム1世 | ④ ヴィルヘルム2世 |
| G | ① サンフランシスコ | ② ニューヨーク | ③ リッチモンド | ④ ワシントンD.C. |
| H | ① ウィルソン | ② ハーディング | ③ クーリッジ | ④ フーヴァー |

問2 下線部(ア)について、第一次世界大戦についての記述として適切でないものを、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は 21 。

- ① アメリカは、ドイツの無制限潜水艦作戦を契機に参戦した。
- ② ドイツの客船ルシタニア号が、アメリカ軍に撃沈された。
- ③ タンネンベルクの戦いで、ドイツ軍がロシア軍を撃破した。
- ④ オスマン帝国は、ドイツ・オーストリアの同盟国側で参戦した。

問3 下線部(イ)について、ロシア十月革命で倒された臨時政府の首相を、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は 22 。

- ① スターリン
- ② トロツキー
- ③ ケレンスキー
- ④ レーニン

問4 下線部(ウ)について、各地で起きた民族運動に関する出来事とその出来事が起きた国・地域の組合せとして正しいものを、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は 23 。

- | | |
|------------------|-------------|
| ① 出来事—三・一独立運動 | 国・地域—中国 |
| ② 出来事—タキン党結成 | 国・地域—ビルマ |
| ③ 出来事—インドシナ共産党結成 | 国・地域—インドネシア |
| ④ 出来事—五・四運動 | 国・地域—朝鮮 |

問5 下線部(エ)について、第一次世界大戦後のアメリカについての記述として適切でないものを、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は 24 。

- ① ドイツの賠償金支払いに対して、ドーズ案に基づく資本導入を行った。
- ② 人種差別撤廃を唱えるクー＝クラックス＝クランが復活した。
- ③ 憲法修正19条により、女性参政権が認められた。
- ④ 主要国の主力艦の保有トン数を定めた海軍軍備制限条約に調印した。

Ⅲ. 次の文章を読んで、設問に答えなさい。

エジプトは古来より交易で栄え、〔A〕やティルスを拠点に活動していたフェニキア人から、建築資材としてレバノン杉を輸入するなど、地中海東岸地域との交易も盛んに行われていた。こうした経済的繁栄の一因として、政治の安定が挙げられる。

古王国の時代以降、エジプトは異民族のヒクソスの侵略を受けたこともあったが、長期的に安定した社会を構築し、〔B〕の戦いでベルシア王を破った後、エジプトはその支配下に入り、大王の死後には、〔C〕がエジプトを支配したが、7世紀にヤルムーク河畔で起きた戦いで、第2代正統カリフであるウマル統治下のイスラーム勢力に敗れ、イスラーム勢力がシリアとともにエジプトを支配することとなった。

前1世紀の〔D〕の海戦を経て、エジプトはローマの支配下に入った。4世紀末のローマ帝国分裂後には、〔E〕がエジプトを支配すると、都としてカイロを建設した。その後、カイロはイスラーム最古の大学とされるアズハル学院が創設されるなど、繁栄を見せた。

10世紀に成立した〔F〕朝はエジプトを征服すると、都としてカイロを建設した。その後、カイロはイスラーム最古の大学とされるアズハル学院が創設されるなど、繁栄を見せた。

〔G〕朝の時代に、カイロには滅亡したアッバース朝のカリフが擁立され、さらにメッカとメディナを保護下に置いたことで、〔H〕朝はイスラーム世界の盟主となり、カイロはイスラーム世界の中心的存在となった。こうした〔I〕朝台頭の背景には、ダウ船を用いたカーリミー商人を保護下に置いたことで、カイロやアレクサンドリアが貿易拠点として栄え、経済発展したことが挙げられる。

このように、エジプトは古来より交易の拠点として栄えたが、そのために18世紀以降は、西欧諸国の係争地となっていたのである。また、19世紀になると、フランスの〔J〕がスエズ運河を完成させたことで、ヨーロッパとアジアを結ぶ航路が大幅に短縮され、エジプトの経済的価値は一層高まることとなった。

問1 文中〔A〕から〔G〕までの空欄について、それぞれ最も適当なものを、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は〔25〕～〔31〕。

- | | | | | |
|---|----------|----------|----------|---------|
| A | ① ダマスクス | ② シドン | ③ マッサリア | ④ ティリンス |
| B | ① イッソス | ② テルモビレー | ③ プラタイア | ④ マラトン |
| C | ① アクティウム | ② サラミス | ③ プレヴェザ | ④ レバント |
| D | ① パルティア | ② 東ローマ帝国 | ③ ササン朝 | ④ リディア |
| E | ① アイユーブ | ② メロヴィング | ③ ファーティマ | ④ カロリング |
| F | ① ナスル | ② ムラービト | ③ マムルーク | ④ ムワッヒド |
| G | ① ディズレーリ | ② アルクイン | ③ カヴール | ④ レセップス |

問2 下線部(ア)について、エジプトの歴史についての記述として適切でないものを、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は〔32〕。

- ① エジプト人は、シリアをめぐるヒッタイトと対立した。
- ② エジプトに王朝をおこしたサラーフ＝アッディーン(サラディン)は、十字軍と抗争した。
- ③ オスマン帝国のセリム1世が、エジプトを征服して自国領とした。
- ④ エジプトは、皇帝即位直後のナポレオンの侵略を受けた。

問3 下線部(イ)について、新王国についての記述として適切でないものを、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は〔33〕。

- ① クフ王がギザにピラミッドを建設した。
- ② 建国当初は都をテーベと定めた。
- ③ 写実的なアマルナ美術が発展した。
- ④ アメンヘテプ4世が、一神教信仰を国民に強制した。

問4 下線部(ウ)について、プトレマイオス朝の王または女王を、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は〔34〕。

- | | | | |
|-----------|----------|----------|----------|
| ① ダレイオス1世 | ② クレオパトラ | ③ ハンムラビ王 | ④ ホスロー1世 |
|-----------|----------|----------|----------|

問5 下線部(エ)について、10世紀の出来事を、以下の中から一つ選んでマークしなさい。解答番号は〔35〕。

- | | |
|--------------|---------------------|
| ① 第3回十字軍の実施 | ② プワイフ朝のバグダード入城 |
| ③ 両シチリア王国の建国 | ④ イブン＝バットゥータのエジプト訪問 |